



## 2022年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 MRT株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6034 URL https://medrt.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 智也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西岡 哲也 TEL 03-6415-5295  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期第2四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	5,445	230.9	2,065	504.7	2,033	502.5	1,389	521.8	1,369	564.2	1,389	498.1
2021年12月期第2四半期	1,645	27.2	341	118.6	337	124.1	223	121.5	206	152.4	232	466.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	245.78	245.54
2021年12月期第2四半期	37.14	36.96

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	7,564	3,683	3,592	47.5
2021年12月期	4,983	2,293	2,222	44.6

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	56.6	2,200	73.6	2,150	71.3	1,450	80.4	1,420	83.4	260.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の通期の連結業績予想につきましては、自治体より受託した自宅療養者に対する健康観察業務を含む新型コロナウイルス感染症に関連する売上収益が好調に推移したこと等を踏まえ、2022年12月期の業績予想を修正いたしました。詳細については、2022年8月12日に公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期2Q	5,714,800株	2021年12月期	5,714,800株
② 期末自己株式数	2022年12月期2Q	141,070株	2021年12月期	141,030株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期2Q	5,573,743株	2021年12月期2Q	5,553,370株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く医療・ヘルスケア業界においては、高齢化社会の進行とともに医療の担い手不足や地域偏在、診療科偏在が課題に挙げられてきました。日本の医療費は40兆円を超え2025年度には約66兆円を見込み、医療費の削減、医師の自己犠牲的な長時間労働により支えられている危機的な状況の改善など、持続可能な医療サービスを実現するための対策が求められてきました。

2020年年明けから感染が拡大した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2022年初頭から増加した新規感染者数が同年6月時点では減少傾向にありましたが、同年7月以降、新規感染者数が再び爆発的に増加しております。政府及び行政機関では感染症対策と社会経済活動の維持との両立に取り組んでおり、医療業界においては、感染拡大防止を目的とした高齢者や基礎疾患を有する方や重症化リスクが高い方に向けた4回目のワクチン接種をはじめ、オンライン診療、自宅療養者への往診及び健康観察を実施するフォローアップセンターなど、医療サービスは様々な状況に応じた需要への対応が求められてきました。

このような状況の中、当社グループは、ワクチン接種の促進を図る各自治体や企業からの増大する要請に応え、大規模接種会場や職域接種におけるワクチン接種のための医療従事者確保、案件の整理および調整、BPO体制などの対応を継続してまいりました。医療機関をはじめ、企業、自治体と医療人材のニーズはますます増加していくことを想定し、医療従事者、医療機関等の双方の利便性の向上や医療人材マッチングのさらなる効率化を目指して、アプリ「MRT WORK」をリリースしました。

医療人材紹介以外の分野においては、2021年度より継続している大阪府からの自宅療養者への往診・オンライン診療を行う「自宅療養者緊急相談センター」に続き、自治体より医療従事者が自宅療養者の健康観察を行う「フォローアップセンター」の運営が当第2四半期連結累計期間の業績に寄与するとともに、今後の多角的な事業展開を見据えたセンター運営に係るノウハウの蓄積を促進することとなりました。また、アプリ「Door.」を用いて、(1)自宅療養者の健康相談、往診やオンライン診療、(2)企業からの依頼に応じて抗原検査や抗体検査の付帯サービスとしての健康相談や副反応相談、(3)ワクチン接種後の副反応に対する健康調査なども継続し対応してまいりました。

当社グループは、これまで作り上げてきた医療ネットワークおよびプラットフォーム、サービスを最大限に活用し医療現場の一助となれるよう引き続き尽力してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上収益は5,445,096千円（前年同四半期比230.9%増）、営業利益は2,065,559千円（前年同四半期比504.7%増）、税引前四半期利益は2,033,100千円（前年同四半期比502.5%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,369,888千円（前年同四半期比564.2%増）となりました。

また、売上収益の内訳は、医療人材サービス（医師、その他の医療従事者）2,067,942千円（前年同四半期比39.2%増）、その他3,377,154千円（同2,010.4%増）であります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状況の分析

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計につきましては、7,564,835千円となり、前連結会計年度末に対して2,581,201千円増加しました。これは、主に営業活動において資金3,241,026千円を獲得したことにより現金及び現金同等物が3,352,392千円増加したことによります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、3,881,761千円となり、前連結会計年度末に対して1,191,404千円増加しました。これは、主にリース負債が48,914千円減少しましたが、金融機関からの短期及び長期の資金調達により社債及び借入金が218,729千円増加、自宅療養者のフォローアップセンター運営に係る費用を含む人件費等の未払や将来支給の見積額の増加により営業債務及びその他の債務が562,187千円増加、及びその他の流動負債が265,070千円増加したことによります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における資本合計につきましては、3,683,073千円となり、前連結会計年度末に対して1,389,797千円増加しました。これは、主に利益剰余金が1,369,888千円増加したことによります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、4,365,674千円となり、前連結会計年度末に対して3,352,392千円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果獲得した資金は3,241,026千円（前年同四半期は2,817千円の使用）となりました。これは、主に法人所得税の支払額が509,533千円ありましたが、営業債権及びその他の債権が690,941千円減少、営業債務及びその他の債務が586,826千円増加、及び税引前四半期利益2,033,100千円を計上したことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は51,907千円（前年同四半期比65.3%減）となりました。これは、主に無形資産の取得40,480千円があったことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果獲得した資金は163,273千円（前年同四半期は205,646千円の使用）となりました。これは、金融機関からの借入金返済による支出101,674千円、社債の償還による支出30,000千円及びリース負債の返済による支出55,007千円がありましたが、自宅療養者のフォローアップセンターの運営に係る医療従事者や外注先等への支払資金の確保を目的とした金融機関からの借入金が350,000千円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の通期の連結業績予想につきましては、自治体より受託した自宅療養者に対する健康観察業務を含む新型コロナウイルス感染症に関連する売上収益が好調に推移したこと等を踏まえ、2022年12月期の業績予想を修正いたしました。詳細については、2022年8月12日に公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。新型コロナウイルス感染症における医療環境の変化は今後も継続することが予想されており、新たに業績予想の修正が必要となる時点で新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した通期連結業績予想を速やかに公表する予定です。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,013,281	4,365,674
営業債権及びその他の債権	2,623,661	1,932,719
棚卸資産	1,880	2,923
その他の金融資産	12,635	4,366
その他の流動資産	56,903	63,407
流動資産合計	3,708,363	6,369,091
非流動資産		
有形固定資産	76,413	71,728
使用権資産	249,591	205,380
のれん	239,688	239,688
無形資産	173,646	169,227
その他の金融資産	271,277	243,785
繰延税金資産	263,615	263,615
その他の非流動資産	1,037	2,318
非流動資産合計	1,275,270	1,195,744
資産合計	4,983,633	7,564,835

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	324,771	886,959
社債及び借入金	515,543	716,072
リース負債	110,477	110,787
その他の金融負債	77,086	127,637
未払法人所得税	502,992	641,229
その他の流動負債	590,152	855,223
流動負債合計	2,121,023	3,337,909
非流動負債		
社債及び借入金	260,630	278,831
リース負債	158,104	108,880
その他の金融負債	38,963	39,337
退職給付に係る負債	75,735	80,887
引当金	35,898	35,914
非流動負債合計	569,333	543,852
負債合計	2,690,356	3,881,761
資本		
資本金	432,075	432,075
資本剰余金	344,457	344,457
利益剰余金	1,751,521	3,121,410
自己株式	△121,074	△121,119
その他の資本の構成要素	△184,643	△184,643
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,222,336	3,592,180
非支配持分	70,939	90,893
資本合計	2,293,276	3,683,073
負債及び資本合計	4,983,633	7,564,835

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)
売上収益	1,645,391	5,445,096
売上原価	△431,177	△2,133,860
売上総利益	1,214,213	3,311,236
販売費及び一般管理費	△873,163	△1,246,828
その他の収益	576	1,182
その他の費用	△30	△30
営業利益	341,596	2,065,559
金融収益	1,356	4
金融費用	△5,487	△32,463
税引前四半期利益	337,465	2,033,100
法人所得税費用	△113,952	△643,258
四半期利益	223,513	1,389,842
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	206,253	1,369,888
非支配持分	17,259	19,953
四半期利益	223,513	1,389,842
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	37.14	245.78
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	36.96	245.54



## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)
四半期利益	223,513	1,389,842
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金 融資産	8,865	—
純損益に振り替えられることのない項目合計	8,865	—
税引後その他の包括利益	8,865	—
四半期包括利益	232,378	1,389,842
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	215,119	1,369,888
非支配持分	17,259	19,953
四半期包括利益	232,378	1,389,842

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2021年1月1日時点の残高	431,755	344,125	979,744	△121,074	△119,260	1,515,290	41,418	1,556,708
四半期利益			206,253			206,253	17,259	223,513
その他の包括利益					8,865	8,865		8,865
四半期包括利益合計	—	—	206,253	—	8,865	215,119	17,259	232,378
2021年6月30日時点の残高	431,755	344,125	1,185,998	△121,074	△110,395	1,730,410	58,677	1,789,087

当第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2022年1月1日時点の残高	432,075	344,457	1,751,521	△121,074	△184,643	2,222,336	70,939	2,293,276
四半期利益			1,369,888			1,369,888	19,953	1,389,842
四半期包括利益合計	—	—	1,369,888	—	—	1,369,888	19,953	1,389,842
自己株式の取得				△45		△45		△45
所有者との取引合計	—	—	—	△45	—	△45	—	△45
2022年6月30日時点の残高	432,075	344,457	3,121,410	△121,119	△184,643	3,592,180	90,893	3,683,073

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	337,465	2,033,100
減価償却費及び償却費	87,167	86,185
金融収益	△1,356	△4
金融費用	5,487	32,463
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△530,160	690,941
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△84	△1,043
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	30,187	586,826
その他	112,069	323,917
小計	40,775	3,752,387
利息及び配当金の受取額	9	4
利息の支払額	△4,967	△4,749
法人所得税の還付額	21,163	2,917
法人所得税の支払額	△59,797	△509,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,817	3,241,026
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,038	△10,766
無形資産の取得による支出	△94,931	△40,480
その他の金融資産の取得による支出	△50,000	—
その他	△635	△660
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149,605	△51,907
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	200,000
長期借入れによる収入	—	150,000
長期借入金の返済による支出	△118,099	△101,674
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
リース負債の返済による支出	△57,547	△55,007
自己株式の取得による支出	—	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205,646	163,273
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△358,069	3,352,392
現金及び現金同等物の期首残高	1,586,171	1,013,281
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,228,102	4,365,674

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、医療情報プラットフォームの提供事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。